

ゴールド過去問題(計算)2020年出題

4. あなたは、デイサービスで働くスタッフです。下記情報をもとに(1)～(3)までの問題に答えなさい。

＜今月のデイサービス運営情報＞

	平日	土曜	日曜	合計
稼働日内訳	22 日	4 日	4 日	30 日
経過日数状況	11 日	2 日	2 日	15 日

	平日平均	土曜平均	日曜平均
集客目標	55 名	54 名	50 名
今月実績(15 日現在)	53 名	55 名	49 名

(1) 今月前半の 15 日間(平日 11 日、土曜 2 日、日曜 2 日)でデイサービスを利用した人数を計算しなさい。(配点 2×2)

① 平日利用人数の総数

答え: _____ 名

② 土曜・日曜利用人数の合計

答え: _____ 名

(2) 月間の残り平日数は 11 日です。平日の目標を達成するために、残りの平日で必要な利用者の総数を計算しなさい。(配点 2×2)

① 平日前半 11 日分の不足人数

答え: _____ 名

② 平日後半 11 日間で必要な利用者人数の合計

答え: _____ 名

(3) 1 月 6 日のデイサービス出勤者の勤務状況は下記のとおりでした。この日のスタッフ数を、常勤換算になおすと何名になりますか。(配点 2)

* 1 日に 8 時間勤務の職員を常勤とする。

＜出勤状況＞

正社員／2 名

パート(AM4 時間勤務)／2 名

パート(PM4 時間勤務)／1 名

ドライバー(送迎時間 1 時間×2 回 勤務)／3 名

食事サポートスタッフ(1 時間勤務)／2 名

ゴールド過去問題(計算)2021年出題

3. あなたの勤める施設(特別養護老人ホーム)では、これまで実施できていた1日の入浴予定人数をクリアすることができず、入浴稼働日を1日増やすことで対応している状況です。この現状を打破すべく、原因を考えることにしました。(配点 $1 \times 5 + 2$ 点)

〔現状〕

- ・入居定員／60名
- ・入浴稼働日／通常は月曜日から土曜日。必要な場合のみ日曜日も稼働。
- ・入居者の入浴回数／1人あたり週2回
- ・入浴時間帯／10時～11時(午前中1時間)、14時～16時(午後2時間)
- ・入浴介助担当者／3人(午前午後ともに)
- ・日曜日の入浴人数／12人

(1) 60名が週2回、月曜日から土曜日の間に入浴する場合、1日あたりの入浴する人数は()名。

(2) 稼働日(月～土)に入浴してもらうために、利用者1人あたりにかかる入浴時間は()分。

(3) 日曜日に12名が入浴していることから、本来の予定に比べて毎日()名が入浴できておらず、現在の1日の入浴者数は()名である。

(4) 日曜日まで稼働している現状で、利用者1人あたりにかかる入浴時間は()分である。

(5) 入浴介助の時間中、3名のスタッフが常に同時に対応しているとします。

その際、入浴介助時間に利用者1人あたりの入浴にかかるスタッフの合計稼働時間は、()分である。

ゴールド過去問題(計算)2022年出題

2. 現場の運営には勤怠管理も必要となります。あるデイサービスの勤務状況の【表 1】を参考にして以下の問いに答えなさい。

【表 1】

※週 40 時間勤務を常勤とする

名前	日数	勤務時間	介護福祉士	月	火	水	木	金	土	日	常勤換算
A	週 5 日	8 時間	○	出	公	出	出	出	公	出	1.0
B	週 4 日	6 時間	×	出	出	出	公	公	出	公	(①)
C	週 5 日	6 時間	○	公	出	出	公	出	出	出	0.75
D	週 3 日	4 時間	×	出	公	公	出	公	出	公	(②)
E	週 3 日	6 時間	×	公	出	公	出	出	公	公	0.45

(1) 表 1 の常勤換算①②を埋めなさい。 ※割り切れない場合は小数点第 3 位を四捨五入 (配点 1×2)

① _____ ② _____

(2) 介護福祉士取得者の勤務割合が年間平均 50%を越えると、次年度にサービス提供体制加算Ⅱ (18 単位) を算定できます。

①このデイサービスの介護福祉士取得者の勤務割合は常勤換算の割合で計算した場合何%か答えなさい。 (配点 2)

※割り切れない場合は小数点第 2 位を四捨五入

_____ %

②このデイサービスの介護福祉士取得者の勤務割合を、常勤換算の割合で計算して 60%にしたいと考えたとき、介護福祉士未取得者の勤務時間が、あと何時間介護福祉士取得者の勤務時間に変わる必要があるか答えなさい。 (配点 2)

ゴールド過去問題(計算)2023年出題

2. 次の表はAデイサービスの3ヶ月の実績です。下記の表をもとに以下の問題に答えなさい。(8)

月		10月		11月		12月	
総利用人数		(①)		1,354		1,464	
日数	平日平均	21	49.0	22	48.1	22	49.5
日数	土曜平均	5	43.4	4	41.0	5	44.2
日数	日曜平均	5	38.2	4	32.5	4	38.5
新規獲得数		4		1		2	
実人数		135		130		133	

(1) 上の表の①の数字を埋めなさい。(配点 2)

(2) Aデイサービスは12月の総利用人数の目標を1,500人に設定しています。土曜平均・日曜平均がこのままの場合、平日平均を何名まで上げれば1,500名に到達するか答えなさい。 ※小数点以下第2位を切り上げ (配点 2)

ゴールド過去問題(計算)2024年出題

2. 次の表はデイサービス A の予算と実績をまとめたものです。表の数字をもとに以下の問題に答えなさい。

月		11 月		12 月	
予算		10,072,500 円		10,480,500 円	
総利用人数 (目標)		① ()		1,233	
実績		10,038,600 円			
総利用人数 (実績)		1,188		② ()	
稼働日数	平日 平均利用人数	22	43.0	21	42.0
稼働日数	土曜 平均利用人数	4	30.5	5	32.0
稼働日数	日曜 平均利用人数	4	30.0	5	31.0

利用者平均単価 8,500 円として予算を計算

- (1) 表の①と②に当てはまる数字を表に書き込みなさい。(配点 1 × 2)
- (2) 11 月の平均単価の実績について、以下の () に適切な数字を答えなさい。(配点 1)
- ・11 月は目標の利用人数を達成しているにもかかわらず、予算金額が未達成です。なぜなら、利用者平均単価の予算が 8500 円であるのに対し、実績の平均単価が () 円になっているからです。
- (3) 11 月の平均単価が下がっていることが判明し、あなたはその原因を分析することになりました。分析に必要な項目 (数字) を 1 つ答えなさい。(配点 1)

- (4) (3) の分析をもとに平均単価を上げる取り組みを実施することになりました。以下の () に適切な数字を答えなさい。(配点 1 × 2)
- ・12 月の平均単価の予測は 8480 円になる見込みです。その場合、12 月の予算を達成するためには、総利用人数の目標は () 人となります。
- 12 月の実績予測は②であるため、1 日あたり () 人 (整数で記載) の追加利用が必要です。
- (5) 12 月の予算達成に向け、上司に対応策を提案することになりました。以下はその会話内容です。以下の () に適切な数字を答えなさい。(配点 2 × 2)
- あなた：「平日の平均利用人数が 42～43 人となっていますが、12 月の予算達成のためには定員を 50 人にする必要がありますと思います」
- 上司：「そのためには人員配置を考える必要があるね。デイの職員配置は、介護保険の中で『利用者の数が 15 人までの場合にあっては 1 以上、15 人を超える場合にあっては 15 人を超える部分の数を 5 で除して得た数に 1 を加えた数以上』となっており、定員 50 人の場合、配置が必要な介護職員は () 人以上となるね」

ゴールド過去問題(計算)2025年出題

3. 施設運営における職員配置の考え方と業務の効率化について、以下の問題に答えなさい。(10)

【問題】

あなたは定員 60 名の特別養護老人ホーム「さくら苑」でリーダーを担っています。次の文章は、介護老人福祉施設の「人員に関する基準（基準省令第 2 条）」の介護職員または看護職員に関する基準を記したものです。

『介護職員及び看護職員の総数は常勤換算方法で、入所者の数が 3 又はその端数を増すごとに 1 以上とする。』

※常勤換算方法とは、従業員の勤務延べ時間数を常勤が勤務すべき時間数で除することにより、従業員の員数を常勤の従業員の員数に換算する方法である。

(1) 「さくら苑」では下記職員が勤務しています。この施設における介護職員または看護職員の常勤換算人数を計算しなさい。(配点 2)

常勤職員：15 名

非常勤職員の 1 週間の延べ勤務時間：360 時間

※1 週間あたりの常勤職員の労働時間は週 5 日×8 時間＝40 時間とする。

(2) 60 名の利用者に対して介護保険法の基準である 3:1 の職員配置としたとき、職員の常勤換算人数を計算しなさい。(配点 2)

(3) さくら苑では、有給取得 100%を目指しています。非常勤の有給取得率は 100%ですが、常勤職員の取得については、平均 3 日分が未取得となっています。100%を達成するためには、常勤換算法で何名の雇い入れが必要か答えなさい。(配点 2)

※1 か月の常勤が勤務すべき時間数を 160 時間として考える。

ゴールド過去問題(計算)2026年出題

3. あなたはデイサービスで責任者をしています。利用者数の増加に伴い、利用定員を12月から35人に見直しました。以下の情報をもとに、問いに答えなさい。(8)

【11月・12月の実績】

【在籍スタッフの勤務時間数】

	11月	12月
営業日	21日	21日
利用定員	30人	35人
介護職配置基準	4人	(①)人
1か月の総利用者数	(②)人	570人
稼働率	90%	(③)%
介護職員常勤換算人数	(④)人	

スタッフ名	週の出勤時間
A	40時間
B	40時間
C	16時間
D	24時間
E	32時間
F	28時間

【条件】

- ・介護職員配置基準：利用定員15人までは1人以上配置し、以後5人増えるごとに1人を追加する。
- ・常勤換算方法：職員の勤務時間合計を、常勤職員が1週間に勤務する時間（40h）で除し、職員数を常勤職員の人数に換算する方法

(1) 上の表の①～④にあてはまる数字を記入しなさい。 ※小数点第2位は切り捨て （配点1×4）

①	②	③	④
---	---	---	---

(2) 定員を増やすための準備が不足していたことから稼働率が低下し、スタッフからは「何をどうしていいかわからない」といった意見が出ました。定員を増やすことに対してあなたが行うべきだった行動を、「稼働率の維持」、「スタッフへの対応」の2つの項目に分けて、それぞれ記入しなさい。（配点1×2）

稼働率の維持	
スタッフへの対応	